

平成 26 年度
事業報告書

自 平成 26 年 4 月 1 日
至 平成 27 年 3 月 31 日

公益社団法人日本ボート協会

平成 26 年度事業報告（概要）

当年度においても、本会の二大方針である「国際競技力の向上」、「ボート人口増大」を引き続き、着実に実現する為、定款に定める各事業を実施した。特に、以下の事業に重点的に取り組んだ。

「日本の地域社会でボート競技の普及を図る」においては、平成 24 年度よりスタートし、種々検討したボート競技普及プロジェクトについて全国ボート場所在市町村協議会との連携を強め、物的、人的環境の整備を働きかけ、普及活動を強化した。また、第 27 回全国マシンローイング大会を開催し、前年の 4,272 名を超える 4,387 名（前年比 103%）の参加を得て、全国的に世代を超えたボート普及活動の柱として展開した。

併せて、「お台場レガッタ 2014」を、前年（782 名）を超える 850 名の参加により開催した。また、日本パラローイング協会、全国高校体育連盟ボート専門部並びに全国中学校ボート連盟等への支援活動を行い、ボート人口の増大、新たなボート競技に接する機会の創出、将来的には総合的な競技力の向上にも繋がる活動を目指した普及活動を展開した。

「ボート選手の育成・強化を行い、競技力の向上を図る」においては、日本ボート界悲願のオリンピックでのメダル獲得に向けた、最も重要な事業と位置付け、強化マネジメント体制ならびにコーチ体制を更に強化し、新たな強化戦略プランのもとに中長期的視野も踏まえたジュニアからシニアの一貫した国際競技力の向上のための計画を立案し実行した。具体的には、フィジカル・フィットネスの強化を含め、世界に伍していくため質量両面における国内強化合宿の継続並びに増強を目的に、シニア計 12 回（前年 9 回）、U23 計 9 回（前年 6 回）、ジュニア計 7 回（前年 6 回）の総計 28 回の国内強化合宿を行った。また、日本スポーツ振興センターの活動助成を初めて受け、ボートに適したタレントを有する選手の発掘を推進する為、全国 21 会場、695 名の参加を得て、トライアウト活動を実施した。その結果、第一次として 24 名が選考通過した。

「ボートの全日本選手権大会及びこれに準ずる競漕会を開催する」においては、計画通り、5 月 16 日（金）～18 日（日）に埼玉県・戸田ボートコースで行われた、第 36 回全日本軽量級選手権を皮切りに、平成 27 年 3 月 20 日（金）～21 日（土）静岡県・天竜ボート場での第 26 回全国高等学校選抜大会に至る、主催 12 大会を開催した。改めて、開催地域のご協力とご支援並びに関係各位のご尽力に感謝したい。また、国際大会として、5 月 16 日（金）～18 日（日）埼玉県・戸田コースに於いて、2014 アジアカップ I を開催した。

「日本代表チームの役員と選手を選定し、国際競漕大会へ派遣する」においては、シニアはアジアカップ第 1 戦、ワールドカップ第 3 戦、世界選手権並びにアジア競技大会へ派遣した。また、U23 は世界選手権、ジュニアは世界選手権、ユースオリンピック並びにアジアジュニア選手権に派遣した。その結果、アジア競技大会においては、金メダル 1 個、銀メダル 2 個を獲得した。

「ボート競技の諸規則・諸規定の制定及び競技用具の審査と検定」においては、一昨年 2 月の FISA 臨時総会で決定した FISA ルールの改定に伴って、本会「競漕規則」の見直しを継続して実施した。また、ボートコースの新規・更新認定業務を都道府県協会、コース管理自治体等と協力して、本年度は 11 コースについて認定業務を行った。

また 2020 年東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、東京都が計画している「(仮称)海の森水上競技場」の建設に関しては、競技運営上並びにオリンピック後の利用等の課題について、関係

先との協議を継続して実施した。

「ボート競技の研究・指導・審判員及び指導者の育成、ボートに関する広報事業」においては、調査・研究の分野では、医科学上の見地から選手の体力・潛力に関する研究を前年に引き続き行った。

審判員の育成に関する事業は、審判員の大会派遣、研修と養成の定期的な実施に加えて、FISA、ARF主催の国際大会へ国際審判員を10名派遣して国際的な場での活動を通じて、ボート競技の振興に貢献をした。

また、指導者のレベル向上を図る為、指導者養成講習会の開催を中心として、インストラクター、セーフティアドバイザー養成事業を、昨年に引き続き着実に実施した。特に、各種の指導者養成は、競技者人口の増大・強化に密接に関わることであり、養成講習会の開催回数の増加、開催場所の広域化を通じて参加者の増大を図った。

ボートに関する広報事業については、「ローイング」の定期発行、ホームページのグレードアップ、コンテンツの充実にも努めるとともに、昨年に引き続きメディア懇談会を実施しメディアへの対応も積極的に行った。

メディカルサポートについては、協会主催大会の医事業務、ドクターとトレーナーの連携により、選手のコンディショニングの管理、スポーツ栄養に関する啓蒙活動を行った。昨年より臨床心理士を新たに加え、メンタル面のサポートにも積極的に関わり、また、体力測定はJISSと連携しながら定期的に測定を行い、ジュニア世代からシニアまでのデータの蓄積を行った。

アンチ・ドーピング検査は、今年度も toto 助成事業として、国内大会 6 日間、46 検体について実施した。また、国内で行われた国際大会（アジアカップ I）において、血液検査 12 検体、尿検査 18 検体について実施した。

「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」においては、ここ数年来、日本スポーツ界の根本をゆるがしている「暴力問題」については、2012 年よりスタートした、裁定委員会制度、内部通報制度、コンプライアンス規定の啓蒙並びに運用について、更に強化した。

また、日本ボート界の悲願であるオリンピックでのメダル獲得のための資金確保策として、強化募金をスタートし、募金活動を行った。

以上

平成 26 年度実施事業

本会は、ボート競技を振興して、日本国民の体力の向上とスポーツ精神を育成することにより、わが国の文化の向上に寄与することを目的として、下記の事業を行った。

1. 日本の地域社会でボート競技の普及に関する事業

本年度は、以下の事業を実施して、ボート競技の普及に取り組む。

(1) ボート競技普及プロジェクトの継続的推進

平成 24 年度にスタートした「ボート競技普及プロジェクト」の推進を通じ、「全国ボート場所在市町村協議会」加盟の各水域をはじめ、全国主要水域のボート普及環境の整備をはじめとした活動を行った。

(2) 全国マシンローイング大会の開催

第 27 回全国大会を平成 26 年 10 月～平成 27 年 1 月の間、全国 9 ブロックに加え、全国 19 拠点で開催し、昨年を上回る 4387 名（前年比 103%）の参加を得た。本年も上位入賞者 8 名を、平成 27 年 4 月にタイで行われるアジアマシンローイングに派遣する。

(3) 「お台場レガッタ 2014」の開催

ボート人口増大、魅力向上プロジェクトの一環として、一般愛好者、初心者参加を募り、参加者、観客が共に楽しみ、ボート競技の魅力を感じられる「ボートイベント」を 6 月 29 日（日）、東京都内のお台場海浜公園で開催し、昨年を上回る 850 名の参加を得た。本事業は、日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金事業の「スポーツ活動推進事業」として実施した。

(4) 関連団体の活動支援

中学生、高校生及び障がい者のボート競技振興を図るため、全国中学校ボート連盟、全国高等学校体育連盟ボート専門部及び NPO 法人日本パラローイング協会の競漕大会開催と普及活動に対し助成金交付と支援を行った。

2. ボート選手の育成・強化を行い、競技力の向上に関する事業

(1) 選手強化事業

本年度は、以下の選手強化事業を実施した。

区分	事業名	開催日程	開催場所
シニア +メダル 枠	4 月強化合宿	4/14（月）～4/25（金）	埼玉県「戸田ボートコース」
	5 月強化合宿	5/7（水）～5/20（火）	埼玉県「戸田ボートコース」
	6 月強化合宿	6/9（日）～7/2（水）	埼玉県「戸田ボートコース」
	7・8 月強化合宿	7/28（日）～8/15（金）	熊本県「斑蛇口湖ボートコース」
	11 月強化合宿①	11/4（火）～11/14（金）	埼玉県「戸田ボートコース」
	11 月強化合宿②	11/25（火）～11/29（土）	埼玉県「戸田ボートコース」
	12 月強化合宿	12/8（月）～12/20（土）	埼玉県「戸田ボートコース」
	1 月強化合宿①	1/13（火）～1/23（金）	埼玉県「戸田ボートコース」

	1月強化合宿②	1/26(月)～1/30(金)	埼玉県「戸田ポートコース」
	2月強化合宿①	2/10(火)～2/20(金)	埼玉県「戸田ポートコース」
	2月強化合宿②	2/23(月)～2/27(金)	埼玉県「戸田ポートコース」
	3月強化合宿	3/9(月)～3/20(金)	埼玉県「戸田ポートコース」

	事業名	開催日程	開催場所
U23+ U20	5月強化合宿	5/12(月)～5/19(月)	埼玉県「戸田ポートコース」
	6月強化合宿	6/9(月)～6/20(金)	埼玉県「戸田ポートコース」
	7月強化合宿	7/14(月)～7/16(水)	埼玉県「戸田ポートコース」
	11月強化合宿①	11/4(火)～11/14(金)	埼玉県「戸田ポートコース」
	11月強化合宿②	11/25(火)～11/29(土)	埼玉県「戸田ポートコース」
	12月強化合宿	12/8(月)～12/20(土)	埼玉県「戸田ポートコース」
	1月強化合宿	1/13(火)～1/23(金)	埼玉県「戸田ポートコース」
	2月強化合宿	2/10(火)～2/20(金)	埼玉県「戸田ポートコース」
	3月強化合宿	3/9(月)～3/20(金)	埼玉県「戸田ポートコース」

	事業名	開催日程	開催場所
ジュニア	6月強化合宿	6/14(土)～6/20(土)	埼玉県「戸田ポートコース」
	7月強化合宿①	7/5(土)～7/16(水)	埼玉県「戸田ポートコース」
	7月強化合宿②	7/22(火)～7/28(月)	埼玉県「戸田ポートコース」
	8月強化合宿	7/29(火)～8/12(火)	埼玉県「戸田ポートコース」

(2) 競技者育成事業

本年度は、日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成事業の「将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業」として実施した。

■U19 発掘育成合宿

事業名	開催日程	開催場所
第1次強化合宿	12/19(金)～12/23(火)	埼玉県「戸田ポートコース」
第2次強化合宿	1/17(土)～1/23(金)	埼玉県「戸田ポートコース」
第3次強化合宿	2/14(土)～2/20(金)	埼玉県「戸田ポートコース」

(3) タレント発掘

今年度は、くじ助成事業として、以下全国21会場において、男子511名・女子184名の計695名の参加を得て、トライアウトを実施した。

開催日	対象地域・開催場所	参加者数
11/22(土)	大分県・中城体育館	30名(男子:30名・女子0名)
12/6(土)	北信越・美浜町総合体育館	28名(男子:18名・女子10名)

12/6 (土)	新潟県・津川漕艇場艇庫	13名 (男子: 9名・女子 4名)
12/7 (日)	北海道・札幌中島体育センター	8名 (男子: 8名・女子 0名)
12/21 (日)	兵庫県・チャンネルレガッタ神戸艇庫	22名 (男子: 18名・女子 4名)
12/21 (日)	福岡県・遠賀コミュニティーセンター	21名 (男子: 17名・女子 4名)
12/23 (火)	鹿児島県・川内商工高等学校	7名 (男子: 4名・女子 3名)
1/17 (土)	関東・戸田公園管理事務所	50名 (男子: 40名・女子 10名)
1/18 (日)	近畿・滋賀県立体育館	43名 (男子: 32名・女子 11名)
1/18 (日)	愛知県・東郷町体育館	31名 (男子: 26名・女子 5名)
1/18 (日)	愛媛県・東温市川内体育センター	23名 (男子: 9名・女子 14名)
1/24 (土)	石川県・津幡南中学校体育館	5名 (男子: 4名・女子 1名)
1/25 (日)	富山県・アイザックススポーツドーム	15名 (男子: 13名・女子 2名)
1/25 (日)	静岡県・沼津東高等学校	24名 (男子: 17名・女子 7名)
1/24 (土)～25 (日)	静岡県・浜松市佐鳴湖漕艇場	151名 (男子: 105名・女子 46名)
1/25 (日)	岐阜県・川辺漕艇場艇庫	24名 (男子: 17名・女子 7名)
1/25 (日)	横浜・鶴見スポーツセンター	32名 (男子: 31名・女子 1名)
1/31 (土)	山形県・酒田西高等学校体育館	30名 (男子: 27名・女子 3名)
2/22 (日)	熊本県・熊本市そごう体育館	95名 (男子: 68名・女子 27名)
2/28 (土)	愛知県・愛知池漕艇場	3名 (男子: 0名・女子 3名)
3/23 (月)	福井県・久々子湖ポートコース	41名 (男子: 24名・女子 17名)

3. ボートの全日本選手権大会及びこれに準ずる競漕会の開催に関する事業

本年度は、全日本選手権大会及び各種競漕会を以下のとおり開催した。また、第36回全日本軽量級選手権大会時に、国際大会として「2015アジアカップI」を併催し、11ヶ国総勢180名(選手132名・役員48名)の参加があった。

大会名	開催期日	開催地・会場
第36回全日本軽量級選手権大会	5/16(金)～5/18(日)	埼玉県「戸田ポートコース」
2014アジアカップI (ARF主催)	5/16(金)～5/18(日)	埼玉県「戸田ポートコース」
第7回全日本マスターズレガッタ	5/24(土)～5/25(日)	群馬県「城沼ポートコース」
JOCジュニアオリンピックカップ 第12回全日本ジュニア選手権大会	6/6(金)～6/8(日)	熊本県「斑蛇口湖ポート場」
第64回全日本社会人選手権大会	7/5(土)～7/6(日)	宮城県「宮城県長沼ポート場」
第34回全日本中学選手権競漕大会	7/19(土)～7/20(日)	岐阜県「長良川国際レガッタコース」
第62回全日本高等学校選手権競漕大会	7/31(木)～8/3(日)	山梨県「河口湖漕艇場」

第 41 回全日本大学選手権大会	8/21 (木) ~8/24 (日)	埼玉県「戸田ボートコース」
第 54 回オックスフォード盾レガッタ	8/23 (土) ~8/24 (日)	埼玉県「戸田ボートコース」
第 92 回全日本選手権大会	9/11 (木) ~9/14 (日)	埼玉県「戸田ボートコース」
第 55 回全日本新人選手権大会	10/3 (金) ~10/5 (日)	埼玉県「戸田ボートコース」
第 69 回国民体育大会ボート競技 (長崎国体)	10/18 (土) ~10/21 (火)	長崎県「形上湾ボートコース」
第 26 回全国高等学校選抜大会	27/3/20 (金) ~3/21 (土)	静岡県「浜松市天竜ボート場」

4. 日本代表チームの役員と選手を選定し、国際競漕大会に派遣することに関する事業

(1) 国際競漕大会派遣事業

本年度は、以下の国際競漕大会に日本代表クルー・役員を選定して派遣した。

■シニア

派遣大会名	開催期日	開催国・会場地
アジアカップ I	5/16 (金) ~5/18 (日)	日本・戸田
ワールドカップ第 3 戦	7/11 (金) ~7/13 (日)	スイス・ルツェルン
世界選手権	8/24 (日) ~8/31 (日)	オランダ・アムステルダム
第 17 回アジア競技大会	9/20 (土) ~9/25 (木)	韓国・忠州

■U23

派遣大会名	開催期日	開催国・会場地
U23 世界選手権	7/23 (火) ~7/27 (日)	イタリア・バレーゼ

■ジュニア

派遣大会名	開催期日	開催国・会場地
世界ジュニア選手権	8/6 (水) ~8/10 (日)	ドイツ・ハンブルグ
ユースオリンピック	8/17 (日) ~8/20 (水)	中国・南京
アジアジュニア選手権	9/4 (木) ~9/7 (日)	台湾・宜蘭

(2) 国際審判員派遣事業

平成 26 年度は、以下の国際競漕大会へ国際審判員を派遣した。

■FISA

派遣大会名	開催期日	開催国・会場地	審判員 (所属協会)
ワールドカップ第 2 戦	6/20 (金) ~22 (日)	フランス・エギュベレット	松田雅彦 (神奈川)
ユースオリンピック	8/17 (日) ~20 (水)	中国・南京	隈元幸治 (神奈川)
アジア競技大会	9/20 (土) ~25 (木)	韓国・忠州	千田隆夫 (岐阜)
世界マスターズレガッタ	10/9 (木) ~12 (日)	オーストラリア・バララート	栗山俊久 (東京)

■ARF

派遣大会名	開催期日	開催国・会場地	審判員 (所属協会)
アジアカップ I	5/16 (金) ~18 (日)	日本・戸田	千田隆夫 (岐阜)

			中嶋大祐 (東京)
アジアジュニア選手権	9/4 (木) ~7 (日)	台湾・宜蘭	松田雅彦 (神奈川)
アジアパラ競技会	10/19 (日) ~21 (火)	韓国・仁川	竹内浩人 (大阪)
アジアカップ I	3/11 (水) ~14 (土)	シンガポール	塚田秀樹 (京都)

(3) 国際関係事業

アジア及び世界のボート界における日本のステータスと国際競技力を高めるための事業を行う。

- 1) 国際連盟の事業方針、競技規則、大会開催計画、各国の動向など、最新情報を把握するため、本年度は、FISA、ARF 総会へ担当役員他を派遣した。

会議名	会議日程	開催国・会場地
世界ボート連盟 (FISA) 通常総会	9/1 (月)	オランダ・アムステルダム
アジアボート連盟 (ARF) 総会	9/23 (火) ~24 (水)	韓国・忠州

2) 国際大会誘致

以下の国際大会の日本誘致をめざし、開催候補コースを公募した結果、以下の応募があった。

- ①2016 年アジアジュニア選手権：岐阜県川辺町・飛騨川コース (応募主体：川辺町)
- ②2017 年アジア選手権/アジアジュニア選手権：応募無
- ③2018 年世界マスターズレガッタ：愛知県東郷町・愛知池 (応募主体：愛知県ボート協会)
開催候補地から応募資料、現地訪問、FISA・ARF の関係機関との情報交換によって開催の可能性を慎重に検討し、以下の国際大会誘致に向けて準備を進めることになった。
- ①2016 年アジアジュニア選手権：岐阜県川辺町・飛騨川コース (2015 年 9 月 25 日に行われる ARF 総会で正式決定の予定)
- ②2017/2018 年アジア選手権：継続的に候補地を求める。
- ③2019 年世界ジュニア選手権：東京・海の森水上競技場 (FISA より開催を要請されている)

3) 日韓交流事業

日本と韓国とのボートを通じた交流を促進する為、隔年ごとにお互いの選手団を招待し合っている。平成 26 年度は、5/16~18 の「アジアカップ I (戸田)」に、韓国チーム計 6 名 (男子選手 2 名、女子選手 2 名、役員 2 名) を招待した。

4) FISA 及び ARF の役員就任

- ・FISA 委員：以下の 3 名が委員に指名された。
千田隆夫 (FISA 審判委員) / 日浦幹夫 (FISA 医科学委員) / 細淵雅邦 (FISA イベント・デイベロプメント委員)
 - ・ARF 委員：以下の 4 名が委員に指名された。
岡本 悟 (ARF パラローイング委員) / 加藤直美 (ARF プロモーション・広報委員)
叶谷彰宏 (ARF 競技委員) / 千田隆夫 (ARF 審判委員)
- なお、ARF 会長選挙に本会大久保会長が立候補したが、落選した。

5. ボート競技の諸規則・諸規定の制定及び競技用具の審査と検定に関する事業

本年度は、以下の事業を実施した。

(1) コース認定

コース名	所在地	認定検査日	コース概要
百間川ボートコース	岡山県岡山市	4/5 (土)	B級・1000m
久々子湖ボートコース	福井県美浜町	4/19 (土)	B級・1500m
城沼ボートコース	群馬県館林市	4/20 (日)	C級・1000m
奥伊勢湖ボートコース	三重県大台町	4/29 (火)	B級・1000m
長良川ボートコース	岐阜県海津市	6/1 (日)	A級・2000m
富山県漕艇場	富山県富山市	6/21 (土)	B級・1000m
河口湖ボートコース	山梨県河口湖町	7/12 (土)	B級・1000m
谷中湖ボートコース	栃木県藤岡町	7/19 (土)	C級・1000m
新田名部川ボートコース	青森県むつ市	8/30 (土)	C級・1000m
川辺漕艇場	岐阜県川辺町	12/21 (日)	B級・1000m
天竜ボートコース	静岡県浜松市	3/17 (火)	B級・2000m

(2) 競技用具の審査と検定に関すること

1) 規格艇の審査と登録

本会の規格艇登録規定に基づき、規格艇の審査及び原簿登録に係わる業務を行った。

2) 規格艇の計測

第69回国民体育大会、第62回全国高等学校選手権及び第25回全国高等学校選抜大会において競漕艇の計測業務を行った。

3) 情報収集と提供

競漕艇、レクリエーション艇、オール等の調査・研究・開発に資するため、これら分野の専門的情報を収集し、関係者へ提供した。

6. ボート競技の研究・指導・審判員及び指導者の育成、ボートに関する広報に関する事業

本年度は、以下の事業を実施した。

(1) 調査・研究関係事業

(財) ミズノスポーツ振興財団の助成金交付を受け、下記の調査・研究事業を継続実施した。

1) 漕力測定装置（今仁マシン）を用いた漕手の漕力、漕型の関係の調査と研究

2) 艇上の三次元加速度センサー測定装置を用いた艇の動きに関する調査、研究

(2) 審判事業及び審判員養成事業

1) 本年度も本会主催・主管大会へ審判長、副審判長、審判員を派遣し、大会審判業務を行った。

2) 2020年東京オリンピック開催に向けて、各種国際大会の招致推進に合わせて、当協会の競漕規則について、見直しと改定を行った。

3) 審判員の養成と技量向上を図るため、以下の審判員資格試験と認定試験及び審判員研修会

と講習会を開催した。

研修会名称	開催日程・場所
第 84 回審判員研修会 (B 級審判員認定試験併催)	5/16 (金) ~5/18 (日) 埼玉県戸田市「戸田ボートコース」
公認審判員セミナー (B 級審判員認定試験併催)	6/6 (金) ~6/8 (日) 熊本県菊池市「班蛇口湖ボート場」
公認審判員セミナー	7/5 (土) ~7/6 (日) 宮城県登米市「宮城県長沼ボート場」
公認審判員セミナー	8/21 (木) ~8/24 (日) 埼玉県戸田市「戸田ボートコース」
第 85 回審判員研修会 (B 級審判員認定試験併催)	10/3 (金) ~10/5 (日) 埼玉県戸田市「戸田ボートコース」
審判員講習会 (C 級審判員認定試験)	都道府県協会の要請により随時開催

(3) 公認スポーツ指導者養成事業

(財) 日本体育協会公認スポーツ指導者養成事業による公認スポーツ指導者養成講習会について、本年度は以下の日程で講習会を開催した。

講習会名	開催日程	開催場所
公認コーチ養成講習会	10/30 (木) ~11/3 (月)	埼玉県・戸田市
公認指導者養成講習会	前期: 11/15 (土) ~11/16 (日) 後期: 12/6 (土) ~12/7 (日)	広島県ボート協会
資格更新義務研修	4/18 (金)	中日本レガッタ
	5/4 (金)	朝日レガッタ
	東地区 11/29 (土) ~11/30 (日) 中地区 1/24 (土) ~1/25 (日) 西地区 11/22 (土) ~11/23 (日)	高体連 3 地区 (東地区・中地区・西地区)
	11/29 (土) ~11/30 (日)	岩手県・盛岡市
	2/1 (日)	埼玉県・戸田市

(4) 日本ボート協会認定セーフティアドバイザー研修事業

本会認定セーフティアドバイザー研修については、本年度は以下の日程で研修会を開催した。
なお、本研修は各水域や団体における安全責任者も受講の対象とした。

事業名	開催日程	開催場所
研修会	11/29 (土) ~11/30 (日)	岩手県・盛岡市
研修会	2/1 (日)	埼玉県・戸田市

(5) ボートに関する広報事業

本年度は、以下の事業を行った。

1) 協会広報誌の発行

「ローイング」を隔月定期発行を行い、本年度は以下年 6 回発行した。

NO	号名	NO	号名
523	2014. 4/5	526	2014. 10/11
524	2014. 6/7	527	新春特別号
525	2014. 8/9	528	2015. 2/3

2) 本会公式ホームページ

ホームページの速報化と掲載情報量のアップを図るとともに、本会の事業・広報活動に一層役立つよう内容充実に努めた。また、次年度の改訂に向けた検討を行った。

3) 報道機関、マスコミへの対応・協力

東京運動記者クラブをはじめ報道機関、出版業界との関係を密にし、報道を通じて本会の活動の広報に取り組む目的で、平成 26 年 11 月 17 日（月）に、昨年引き続きメディア懇談会を行い、20 社（全国紙 4・地方紙 8・スポーツ紙 2・テレビ 2・通信社他 4）22 名の参加を得た。（昨年対比 11 社増）

また、ニュースリリース等をタイムリーに発行し、報道機関へニュースソース提供を積極的に行った。

7. メディカルサポート、ドーピング検査事業

本年度は、以下の事業を実施した。

- (1) 戸田ボートコース開催の全日本選手権大会（全日本、全日本軽量級、全日本大学及び全日本新人）及びアジアカップ I へ医師、看護師を派遣し、救急医事務を行った。
- (2) 全日本選手権大会（全日本、全日本軽量級、全日本大学、全日本新人）及びアジアカップ I に於いて、大会内ドーピング検査を日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の委託事業として実施した。
- (3) JADA と連携して、競技団体・選手を対象にアンチ・ドーピングに関する普及・啓発講習会を開催した。
- (4) 国内・海外強化合宿、海外大会へ医師、トレーナーを帯同させ、選手のコンディショニング維持・改善及び指導等を行った。
- (5) トレーナー部会を新たに設置し、AT 推薦、研修会を実施した。また、全日本軽量級及びアジアカップ I において、トレーナーブースを設置し、海外からの選手も含めて参加選手のコンディショニングを行った。
- (6) 栄養・コンディショニングの相談窓口を設置し、相談業務を実施した。
- (7) メンタルサポート窓口を設置し、精神・心理面の問題に対応した。
- (8) 女性アスリートの体調管理の問題を取り上げ、代表候補選手及び大会参加一般選手に対して講習会を実施した。

8. スポーツマンシップの育成と競技者資格の決定に関する事業

本年度は、以下の事業を行った。

(1) 競技団体及び競技者資格の決定

競技者規定に基づき、平成 26 年度の競技団体及び競技者の資格決定を行った。

(2) 競技団体、競技者の登録

本年度は、以下の団体並びに選手資格に定める選手の登録を行い、前年に対し全体では 5 団体減、選手数は 427 増となった。

	大学	高校	中学	一般	計
団体数(前年)	118 (118)	219 (221)	28 (27)	173 (177)	538 (543)
選手数(前年)	2, 942 (2, 864)	4, 329 (4, 033)	610 (603)	1, 414 (1, 370)	9, 295 (8, 868)

(3) 審判員管理システムの構築

審判業務の効率化を図るため、審判員の資格把握、審判技術の向上、従事履歴等の管理システムを構築し、運用を開始した。

9. その他の目的を達成するため必要な事業

(1) 協会財政基盤の強化

日本オリンピック委員会 (JOC)、日本スポーツ振興センター (JSC)、その他の団体に対し精力的に助成の申請を行った。その結果、JOC の NF ランクが B から C に変更になった影響から、選手強化関係は減額となったが、その他の関連は昨年に引き続き増額となった。しかしながら、新たな助成の獲得には至らなかった。また、今年度より 2020 に向けた強化のため強化募金について本格的に取り組み、年度末現在企業・団体・個人から 15, 000 千円強の申込みを頂いた。来年度以降も精力的に取り組んでいきたい

(2) ポート人口増大運動の継続

都道府県ポート協会、全国ポート場所在市町村協議会、その他の関連団体等との連携を通じて、全国のポート関係団体・個人との交流を推進し、ポート人口増大、魅力あるポートライフの創出、イベント企画等を行い、長期的なポート人口増大活動を展開した。また、各地でポート競技の振興を図る為、国内各地の以下のポート競技会開催を後援した。

大会名	実施期間	主催
第 59 回中日本レガッタ	4/19 (金) ~4/21 (日)	愛知県ポート協会他
第 67 回朝日レガッタ	5/3 (土) ~5/6 (火)	関西ポート連盟他
第 41 回東北総合体育大会	7/18 (金) ~7/20 (日)	日本体育協会他
第 31 回松江市民レガッタ	8/2 (土) ~8/3 (日)	松江市民レガッタ実行委員会
第 2 回かわべ清流レガッタ	8/3 (日)	川辺町他
第 34 回隅田川レガッタ	8/3 (日)	東京都ポート協会
第 23 回河北レガッタ	8/8 (金) ~8/10 (日)	宮城県ポート協会他
第 42 回中部選手権競漕大会	8/30 (土) ~8/31 (日)	中部ポート連盟
第 23 回全国市町村レガッタ	9/20 (土) ~21 日 (日)	全国ポート場所在市町村協議会

第 32 回名古屋レガッタ	10/12 (日)	名古屋市ボート協会
第 58 回相模湖レガッタ	10/25 (土) ~10/26 (日)	神奈川県ボート協会
第 10 回全国中学校選抜ボート大会	3/21 (土) ~3/23 (月)	全国中学校ボート連盟他

(3) 公益法人に関する業務の推進

公益法人のもとで協会運営を行うために、必要な各種規定・規則類のさらなる整備をするとともに、その他の関連業務を継続して実施した。

(4) 新たな公益事業、収益事業の創出

公益法人としての事業継続・発展となる新たな事業の創出について調査・検討を行った。

以上

2014年国際大会記録

アジアカップI<日本・戸田>				2014年5月16日～5月18日			
種目	優勝	第2位	第3位	日本選手			
LM1x	日本1	7分15秒83	イラン	7分20秒12	香港1	7分21秒13	JPN1須田 JPN2古米
LM2x	日本1	6分40秒22	インドネシア	6分46秒74	日本2	6分47秒98	JPN1大元・中野 JPN2濱上・山口
M4x	カザフスタン	6分06秒58	イラン	6分07秒90	台湾2	6分11秒29	JPN1内田・志賀・武田・福井 JPN2荒川・高野・内藤・濱口 JPN3岡山・栗原・清水・諏訪
LW1x	香港1	8分05秒13	日本2	8分07秒16	韓国	8分12秒58	JPN1納田 JPN2若井
LW2x	日本2	7分51秒04	ベトナム	7分52秒73	日本1	7分54秒79	JPN1上田・末廣 JPN2川本・富田
W4x	ベトナム	6分51秒53	台湾2	6分54秒38	イラン	6分59秒16	川合・高橋・富田・納田

ワールドカップ第3戦<スイス・ルツェルン>				2014年7月11日～7月13日					
種目	優勝	第2位	第3位	日本選手					
LM1x	スイス	7分14秒05	フランス	7分16秒83	ドイツ	7分16秒88	中野	7分17秒80	13位
LM2x	フランス	6分25秒32	イタリア	6分27秒01	ノルウェー	6分27秒95	大元・須田	6分33秒29	16位
LM2-	スイス	6分41秒58	チェコ	6分41秒82	イギリス	6分42秒64	伊藤・小林	6分51秒37	11位
LM4-	ニュージーランド	6分00秒17	デンマーク	6分02秒89	イギリス	6分06秒09	今井・片岡・田立・西村	6分20秒10	14位
LW1x	ニュージーランド	7分55秒03	ギリシャ	7分57秒80	オランダ	7分57秒92	JPN1上田 JPN2福本	8分05秒46 8分05秒16	13位 9位
LW2x	イギリス	7分08秒17	オーストラリア	7分10秒37	カナダ	7分10秒81	末廣・若井	7分25秒74	15位

U23世界世界選手権<イタリア・バレーゼ>				2014年7月23日～7月27日					
種目	優勝	第2位	第3位	日本選手					
BLM1x	アメリカ	6分54秒49	トルコ	7分00秒14	イタリア	7分00秒58	古米	7分19秒09	15位
BLM2x	ドイツ	6分22秒31	オランダ	6分24秒50	フランス	6分24秒51	濱上・山口	6分57秒99	18位
BLM2-	チェコ	6分43秒97	イギリス	6分44秒47	カナダ	6分44秒96	林・藤田	7分01秒86	8位
BLM4-	スペイン	6分02秒35	イギリス	6分04秒75	イタリア	6分05秒20	佐藤・中村・奈良・平木	6分13秒71	5位
BW1x	リトアニア	7分27秒33	イタリア	7分31秒48	ドイツ	7分36秒00	榊原	8分00秒60	14位
BLW1x	オランダ	7分37秒18	ギリシャ	7分41秒58	ベルギー	7分44秒35	納田	7分57秒13	9位
BLW2x	ニュージーランド	6分59秒37	ルーマニア	7分03秒68	オーストラリア	7分07秒31	川本・富田	7分21秒03	10位

2014年国際大会記録

世界ジュニア選手権<ドイツ・ハンブルグ>						2014年8月6日～8月10日		
種目	優勝		第2位		第3位		日本選手	
JM2x	ドイツ	7分23秒96	リトアニア	7分36秒26	オーストラリア	7分37秒57	大久保・野村	6分37秒21 16位
JM4x	ドイツ	6分44秒05	イギリス	6分46秒42	ニュージーランド	6分54秒96	高田・武田・中原・古田	6分08秒47 22位
JW2x	ルーマニア	8分19秒15	ドイツ	8分24秒34	ギリシャ	8分34秒88	常盤・成瀬	7分28秒52 20位
JW4x	中国	7分26秒48	ドイツ	7分31秒52	イギリス	7分41秒08	小原・高島・瀧本・棚橋	6分55秒68 13位

第2回ユースオリンピック大会<中国・南京>						2014年8月16日～8月28日		
種目	優勝		第2位		第3位		日本選手	
JW1x	ベラルーシ	3分51秒33	ギリシャ	3分51秒59	フランス	3分53秒80	高島	4分07秒20 19位

世界選手権<オランダ・アムステルダム>						2014年8月24日～8月31日		
種目	優勝		第2位		第3位		日本選手	
LM1x	イタリア	6分43秒37	ドイツ	6分46秒73	スイス	6分50秒88	中野	7分07秒06 12位
LM2x	南アフリカ	6分05秒36	フランス	6分05秒45	ノルウェー	6分05秒79	大元・須田	6分24秒63 21位
LM2-	スイス	6分22秒91	フランス	6分25秒02	イギリス	6分25秒48	今井・西村	6分35秒98 13位
LM4-	デンマーク	5分47秒15	ニュージーランド	5分48秒76	イギリス	5分49秒58	伊藤・片岡・小林・田立	6分04秒38 15位
LW1x	ベルギー	7分31秒31	ギリシャ	7分31秒73	アメリカ	7分33秒97	上田	7分51秒10 10位
LW2x	ニュージーランド	6分48秒56	カナダ	6分50秒41	中国	6分53秒40	末廣・若井	7分15秒10 20位

第20回アジアジュニア選手権<台湾・宜蘭>						2014年9月4日～9月7日		
種目	優勝		第2位		第3位		日本選手	
JM1x	香港	7分39秒02	ウズベキスタン	7分40秒95	日本	7分47秒33	高田	7分47秒33 3位
JM2x	日本	7分11秒61	カザフスタン	7分14秒42	イラン	7分18秒95	武田・古田	7分11秒61 1位
JW1x	韓国	8分18秒07	インドネシア	8分20秒88	台湾	8分24秒34	高島	8分24秒90 4位
JW2x	日本	7分56秒01	台湾	8分05秒82	香港	8分07秒07	小原・瀧本	7分56秒01 1位

2014年度国内大会記録

第92回全日本選手権大会 <埼玉・戸田ボートコース>				平成26年9月11日～9月14日		
種目	優勝		第2位		第3位	
M8+	明治安田生命	6分01秒71	日本大学	6分03秒60	一橋大学	6分04秒65
M4-	戸田中央総病院RC	6分29秒33	NTT東日本	6分35秒45	仙台大学	6分38秒50
M4+	関西電力美浜	6分41秒08	東レ滋賀	6分46秒62	中央大学	6分48秒86
M4X	日本大学	6分22秒74	東京経済大学	6分24秒16	明治大学	6分25秒40
M2-	日本大学	7分04秒73	一橋大学	7分05秒38	東京経済大学	7分09秒09
M2+	日本大学	7分37秒59	立教大学	7分43秒43	明治大学	7分45秒49
M2X	アイリスオーヤマ	6分31秒09	関西電力美浜	6分41秒95	今治造船	6分50秒19
M1X	武田(ダイキ)	7分16秒43	今井(中部電力)	7分18秒24	濱上(関西電力美浜)	7分24秒75
W8+	明治大学	7分06秒61	法政大学	7分09秒22	富山国際大学	7分11秒56
W4X+	日本体育大学	7分08秒07	明治安田生命	7分08秒84	明治大学	7分10秒68
W2-	立命館大学	7分47秒65	名古屋大学	7分51秒98	早稲田大学	7分55秒54
W2X	富山国際大学	7分20秒11	関西電力小浜	7分23秒71	早稲田大学	7分30秒81
W1X	大石(中部電力)	8分03秒83	中川(仙台大学)	8分05秒56	栗山(富山国際大学)	8分09秒52

第36回全日本軽量級選手権大会 <埼玉・戸田ボートコース>				平成26年5月16日～5月18日		
種目	優勝		第2位		第3位	
LM8+	一橋大学	6分00秒92	中央大学	6分04秒11	明治大学	6分04秒89
LM4-	日本大学A	6分33秒83	NTT東日本	6分36秒33	日本大学B	6分38秒05
LM4X	東京経済大学	6分17秒21	明治大学	6分18秒22	日本体育大学	6分20秒62
LM2-	明治安田生命	7分28秒61	日本大学	7分30秒84	茨城大学	7分40秒92
LM2X	明治安田生命	7分03秒84	中部電力	7分08秒83	立命館大学	7分10秒86
LM1X	武田(ダイキ)	7分54秒09	池田(トヨタ紡織)	7分59秒02	佐藤(明治安田生命)	8分07秒43
LW4X	明治大学	7分03秒65	早稲田大学	7分06秒30	関西電力小浜	7分08秒68
LW2X	富山国際大学	7分54秒60	東北大学	7分58秒93	立命館大学	8分01秒94
LW1X	福本(明治安田生命)	8分58秒54	窪(関西電力小浜)	9分03秒86	首藤(明治安田生命)	9分10秒79

2014年度国内大会記録

第64回全日本社会人選手権大会〈宮城・長沼ボートコース〉				平成26年7月5日～7月6日	
種目	優勝		第2位		第3位
M8+	中部電力	5分55秒88	東レ滋賀	5分59秒01	
M4-	NTT東日本	6分30秒96	中部電力	6分33秒91	警視庁 7分07秒67
M4+	東レ滋賀	6分30秒59	トヨタ紡織	6分32秒23	戸田中央総合病院 6分36秒71
M2-	トヨタ紡織B	7分00秒74	明治安田生命	7分01秒46	トヨタ紡織A 7分03秒67
M2X	今治造船	6分49秒24	明治安田生命	6分50秒69	品川リフレクトリーズ 7分01秒03
M1X	栗原(明治安田生命)	7分18秒50	西川(NTT東日本)	7分20秒73	三浦(NTT東日本) 7分22秒68
M1XOV40	松岡(横浜漕艇倶楽部)	8分15秒77	佐藤(新潟RC)	8分28秒81	吉田(AQUA ROWING CLUB) 8分34秒22
M1XOV50	鷹野(滋賀大学陸水艇友会)	8分22秒37	深沢(新潟RC)	8分22秒65	仲江(巽ローイングクラブ) 8分48秒15
M1XOV60	安達(瀬田漕艇クラブ)	8分36秒06	高橋(パルテ会)	8分54秒38	池田(ボート団塊号) 9分05秒26
W4X+	中部電力	7分53秒41			
W2X	デンソー	8分28秒37	中部電力A	8分35秒18	中部電力B 8分52秒31
W1XOV40	住谷(キラールホエール)	9分44秒99			
W1X	野崎(中部電力C)	8分21秒71	杉原(今治造船)	8分23秒61	石鍋(明治安田生命) 8分40秒60

2014年度国内大会記録

第41回全日本大学選手権大会 <埼玉・戸田ポートコース>				平成26年8月21日～8月24日		
種目	優勝		第2位		第3位	
M8+	日本大学	5分44秒68	一橋大学	5分48秒13	早稲田大学	5分49秒89
M4-	明治大学	6分21秒04	立教大学	6分22秒97	仙台大学	6分23秒48
M4+	日本大学	6分42秒30	東海大学	6分44秒98	明治大学	6分46秒75
M4X	明治大学	6分05秒32	日本大学	6分06秒40	日本体育大学	6分09秒94
M2-	一橋大学	6分58秒30	仙台大学	6分59秒42	東京経済大学	7分09秒18
M2+	日本大学	7分35秒90	立教大学	7分39秒67	一橋大学	7分41秒54
M2X	筑波大学	6分51秒37	龍谷大学	6分57秒04	日本体育大学	7分00秒32
M1X	志賀(日本大学)	7分25秒89	伏見(岡山大学)	7分30秒49	斧澤(東京経済大学)	7分35秒60
W4X+	早稲田大学	7分13秒98	日本体育大学	7分17秒57	東北大学	7分19秒38
W2-	名古屋大学	7分43秒92	立命館大学	7分45秒15	早稲田大学	7分52秒81
W2X	富山国際大学	7分28秒92	早稲田大学	7分31秒16	仙台大学	7分42秒55
W1X	富田(明治大学)	7分55秒64	中川(仙台大学)	8分07秒44	小原(筑波大学)	8分11秒54

第54回オックスフォード盾レガッタ <埼玉・戸田ポートコース>				平成26年8月23日～8月24日		
種目	優勝		第2位		第3位	
M8+	東レ滋賀	5分51秒77	中部電力	5分56秒91	NTT東日本	6分02秒83

2014年度国内大会記録

第69回国民体育大会 夏季大会<長崎県・形上湾ポートコース>			平成26年10月18日～10月21日		
種目	優勝	第2位	第3位		
成年M4+	NTT東日本(東京) 3分22秒53	宮城選抜(宮城) 3分22秒90	福井選抜(福井) 3分25秒68		
成年M2x	愛媛選抜(愛媛) 3分20秒02	NTT東日本(東京) 3分21秒34	大阪選抜(大阪) 3分21秒62		
成年M1x	明治安田生命 高橋(東京) 3分30秒76	青森選抜 浜田(青森) 3分30秒97	三重選抜 清水(三重) 3分31秒07		
成年W4x+	愛媛選抜(愛媛) 3分43秒68	岐阜選抜(岐阜) 3分44秒18	熊本選抜(熊本) 3分48秒18		
成年W2x	明治安田生命(東京) 3分40秒05	滋賀選抜(滋賀) 3分45秒52	熊本選抜(熊本) 3分45秒61		
成年W1x	青森選抜 木野田(青森) 3分56秒34	鳥取県選抜 富田(鳥取) 3分57秒03	愛知選抜 石鍋(愛知) 4分01秒10		
少年M4x+	福井選抜(福井) 3分26秒70	岡山選抜(岡山) 3分31秒63	愛知選抜(愛知) 3分32秒56		
少年M2x	鳥取県選抜(鳥取) 3分22秒18	大分県選抜(大分) 3分24秒11	富山選抜(富山) 3分25秒02		
少年M1x	鳥取県選抜 古田(鳥取) 3分31秒66	福井選抜(福井) 3分37秒10	江津工業高校 島田(鳥根) 3分41秒08		
少年W4x+	岐阜選抜(岐阜) 3分41秒10	福井選抜(福井) 3分44秒36	愛媛選抜(愛媛) 3分46秒00		
少年W2x	大分県選抜(大分) 3分41秒85	静岡県選抜(静岡) 3分49秒31	兵庫選抜(兵庫) 3分49秒36		
少年W1x	鳥取県選抜 高島(鳥取) 3分59秒01	神奈川県選抜 土佐(神奈川) 3分59秒98	館林女子高校 瀧本(群馬) 4分02秒70		

第55回全日本新人選手権大会 <戸田ポートコース>			平成26年10月3日～10月5日		
種目	優勝	第2位	第3位		
M8+	明治大学 6分02秒81	慶應義塾大学 6分05秒14	早稲田大学 6分07秒37		
M4+	立教大学 6分51秒51	立命館大学 6分53秒46	大阪市立大学 6分54秒20		
M2X	日本大学A 6分53秒84	日本大学B 6分54秒48	日本大学C 6分56秒55		
M1X	岩本(中部電力) 7分31秒64	嶋田(日本大学) 7分39秒10	谷村(中央) 7分43秒77		
W4x+	明治大学 7分14秒10	日本体育大学 7分15秒07	早稲田大学 7分17秒01		
W2X	筑波大学 7分25秒66	日田三隈高校 7分39秒07	大垣共立銀行 7分39秒12		
W1X	栗山(富山国際大学) 8分11秒16	石鍋(明治安田生命) 8分26秒30	田口(早稲田大学) 8分28秒87		

2014年度国内大会記録

第12回全日本ジュニア選手権大会 <熊本・斑蛇口湖ホートコース>				平成26年6月6日～6月8日	
種目	優勝		第2位		第3位
M1X	古田(米子工業)	8分08秒93	高田(敦賀工業)	8分17秒13	中原(日田) 8分22秒07
W1X	高島(米子東高校)	9分03秒49	龍本(館林女子高校)	9分09秒25	成瀬(恵那) 9分13秒53

第62回全日本高等学校選手権競漕大会 <山梨県・河口湖漕艇場>				平成26年7月31日～8月3日	
種目	優勝		第2位		第3位
M4X+	若狭	3分12秒15	高島	3分14秒62	石巻工業 3分15秒60
M2X	美方	3分20秒14	小松明峰高校	3分24秒31	横浜商業高校 3分24秒65
M1X	野口(米子東)	3分36秒82	近藤(浜松大平台)	3分36秒99	石橋(清風) 3分39秒12
W4X+	加茂	3分38秒29	本荘	3分39秒28	若狭 3分40秒58
W2X	大津	3分46秒44	津久井	3分48秒64	宇和島東 3分51秒65
W1X	米川(旭丘)	4分02秒72	土佐(横浜商業)	4分03秒31	高橋(諏訪清陵) 4分03秒52

第26回全国高校選抜大会 <静岡・天竜ホート場>				平成27年3月20日	
種目	優勝		第2位		第3位
M4X+	恵那	3分11秒20	潮来	3分13秒42	横浜商業 3分13秒66
M2X	美方	3分18秒82	若狭	3分21秒23	関西 3分21秒47
M1X	江本(八尾)	3分39秒10	石畑(米子高専)	3分40秒17	久保(保谷) 3分40秒38
W4X+	若狭	3分29秒56	南稜	3分30秒63	大津 3分34秒28
W2X	米子東	3分40秒58	小松明峰	3分45秒36	浜松北 3分47秒73
W1X	大門(日田林工)	3分53秒67	高野(日田三隈)	4分00秒79	山口(津久井) 4分01秒29

2014年度国内大会記録

第34回全日本中学選手権競漕大会〈岐阜・長良川ボートコース〉				平成26年7月19日～7月20日		
種目	優勝		第2位		第3位	
M4X+	丸内中	3分14秒05	美浜中	3分14秒07	楡原中	3分15秒87
M2X	神戸選抜	3分28秒38	瀬田北中	3分29秒41	阿賀町ジュニアRC	3分30秒51
M1X	小見山(神戸ボートクラブ)	3分33秒49	熊谷(岡山ジュニアRC)	3分35秒63	日比野(川辺中)	3分39秒91
W4X+	津幡南中	3分37秒92	入野中	3分39秒21	美浜中	3分41秒78
W2X	瀬田中A	3分42秒20	瀬田中B	3分42秒67	瀬田北中	3分46秒48
W1X	新田(神戸ボートクラブ)	3分55秒65	向井(入野中)	3分59秒37	竹内(岡山ジュニアRC)	4分01秒16

平成26年度事業報告 附属明細書

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成27年3月31日

公益社団法人 日本ボート協会